

ふれあい

平成21年 1月 第274号

大代地区コミュニティー推進協議会
(編集部)

事務局：大代地区公民館
☎364-8442

〈掲載目次〉

- 新年を迎えて..... 1
- 迎春..... 1
- 柏木神社からどんと祭のお知らせ..... 2
- 大代地区公民館からのお願い..... 2
- コミュニティーポリング大会..... 2
- 多賀城市消防団第六分団だより..... 3

- 多賀城市老人クラブ演芸大会に参加..... 3
- 大代の歩み(十)..... 4
- ふれあい短歌..... 4
- ふれあい俳句..... 4
- 大代一丁目地内の交通規制(一方通行)についてお知らせ..... 5
- 振り込め詐欺に注意..... 6

新年を迎えて

大代地区コミュニティー推進協議会

会長 熱海 五郎

新年明けましておめでとうございませう。金融危機による景気後退雇用不安などの二十年でした。

我々大代地区コミュニティー推進協議会の年間行事は、広報部の広報ふれあい推進部の新年を祝う会を残して行事を終了させて頂きました。市、大代五区、公民館、各行事に参加させて頂きました。体育部、環境美化部の行事も地区住民の協力で多数の参加を頂き、ふれあい、コミュニケーションも一歩前進させて頂きました。

二十一年度も住民の協力にて推進協議会の事業を進展するよう努力させて頂きますのでよろしくお願ひ申し上げます。

迎春

☆
新春を迎え皆様のご健康と

御多幸をお祈り申し上げます

丑

本年もよろしくお願ひ申し上げます

♡

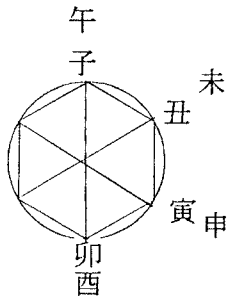


今回寄稿当番区長大代北 加藤 涉

新しい年2009丑年を迎えました。『去年はどうでした。』の問いに大抵の人は、『あつと云う間に正月でした。』対して『いや一年

の長いこと退屈な年でした。』このような返事はほとんどありません。充実した生活を送ることのできた人の一年は短く、退屈に時を過ごした人には長く感じる。どのような結果であれ、一年は、365日5時間48分45.2秒。1年に5時間48分45.2秒余つてくる、余った分(約6時間×4年=24時間)を4年目の2月に、1日足し366日で調整しているのが閏年、『時』地球の公転周期(太陽を回る周期)は約1年(365.25636日)自転周期(太陽が決められた位置に翌日も来る運動)が約1日(23.9345時間)赤道周囲は、40,000km、地球の自転速度1時間は3,600秒×24時間=86,400秒 自転速度は、時速約1,667kmになり、秒速463mになります。時とは物事の変化を計る物差し、過去と未来を計測する道具に過ぎない、過去を悔み未来を案じて、何も生まれない、今を生きていることが大切、留まらず、流されず、急がず。年、月、日、時、分、秒、私たちの生活を管理している尺度、現在の時の定義は、「セシウム133(Cs)」という原子の周波を用いた時刻システム、10万年に1秒の誤差もない精度、この波長を送信所から発信して、受信しているのが電波時計、精度は良いが、充実して、1日を過ごせる人には無用の長物、時を時々利用する程度の生甲斐のある丑に似合いの生活を過ごしたい。時には、こんな時代に

タイムスリップしてみたらおもしろいかもね。正月近くになるとお決まりの年賀状のイラスト、来年の干支は？よく話題になる言葉です。年や時を表すのに用いられた字、時刻は一字を二時間で表わし十二文字で一日を表現しています。十二支がこれに当たります子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥。つまり日本語の、鼠、牛、虎、兎、竜、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪になります。この一刻をさらに四等分(三十分)が時になります。怪談等で(草木も眠る丑三つ時)が現在の午前三時三十分になります。子が午前零時午が正午 訓告、大代五区区長会の寄り合いと告、場所、大代地区寺子屋、刻、酉二つ時、(午後七時)、終了の刻は、戌二つ時(午後九時)とす。



定刻に遅れた場合は二両の加料と断髪と課す。帯刀は、持に当る為、持ら込み禁止とす。

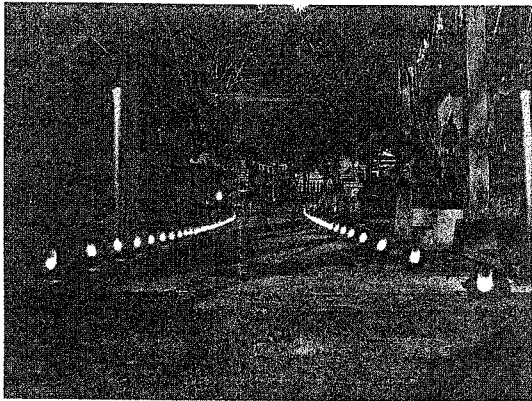
亥 辰 未 申 酉 戌 巳 辰 寅 卯 子

十二支の起源は、太陽系惑星、木星の公転周期二・九年を元に考えられたものとされています。木星の公転軌道を十二等分したのが十二支です。方位の単位にも十二支が用いられ

ました。正円を十二等分したものに十二支を子から時計回転方向に割り当てて方位を定めた。現在も利用されているものがあります。地球の縦線、経度を子午(しご)線、横線、緯度を卯酉(ぼうゆう)線と読んでいます。

柏木神社に灯道を

柏木神社参道に灯道を設置してみようと、茶飲み席で持ち上がり、試してみる価値ありと話しがまとまり、急遽、仮称「柏木神社に灯道を創る会」を大代五区の区長五名で結成(あくまでも個人意思)好評価を得た時点で、賛同会員募集、神社催行毎にと考えております。予定は、大晦日18時点灯、元日6時消灯とどんと祭14日18時点灯、翌日6時消灯で計画しております。何れも荒天の場合は中止一見の価値あり、是非見に来て下さい。



[夕暮れの柏木神社灯道イメージ合成]

柏木神社からどんと祭のお知らせ

- 日時／一月十四日(水)
- 時間／午後五時から六時三十分
- 松飾りは当日の朝八時から受付します。
- ※ビニール・プラスチック等の化学製品は全て取り除いて納めて下さい。

大代地区公民館からのお知らせ

大代地区公民館玄閣にある『松の剪定』作業の奉仕をしていただけの方、恐縮ですがご一報下さい。

連絡先 ☎ 三六四一八四四二

コミュニティ

ボーリング大会

去る十二月十四日(日)に多数の方の参加をいただきボーリング大会が開催されました。成績は次の通りです。

性別	順位	氏名
男性	一位	結城 一志
	二位	橋本 浩
	三位	田村 昭男
特別賞		遠藤 博 (新日本石油)
女性	一位	橋本 恵美子
	二位	後藤 重子
	三位	阿部 正子

多賀城市消防団

第六分団だより

第六分団長 伊藤 勲

新年明けましておめでとございます。地域の皆様には、輝かしい新春を、ご家族おそろいでお迎えの事と存じます。日頃の消防団活動に対し、ご指導ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

さて、この度、平成二十年秋の叙勲に際し、元第六分団長平山勇吉様、東海林聡悟様の兩名が瑞宝単光章の榮譽に浴されましたこと、誠にありがとうございます。団員一同敬意と慶びをもうしあげます。

平山勇吉様は、昭和十九年十月当時の多賀城市消防団に十七才で入団以来四十六年五カ月の長期に亘り第一線で活躍し、後輩の団員に消防精神の規範を示していたいただきました。並びに東海林聡悟様においても、昭和三十四年三月入団以来率先して消防活動され、団員の団結と親睦をご教示していただきました。また、国勢調査等の各種の調査に携われ活躍されました。

奇しくも同時期に、ご兩名の元分団長経験者が、この上ない名譽に浴されました事は私達後輩団員としても、大変な慶びを感じ、より一尚の精進を新たに致しております。また、昨年十一月一日に行

われた市政功労者式典において団員伊藤平和さんが消防業務精励で、団員伊藤寿男さんが食品衛生業務に尽力された事により、表彰をうけられました。誠にありがとうございます。これから春先に向かつて空気が乾燥し、強風の日が多くなり、ストーブ等を使用する事で、火災発生の一因になりますので、皆様個々の注意が一番肝要かと存じます。

当六分団においても、二十一年一月四日開催の多賀城市消防団出初式に出動し、新たな気概の元、今後共安心安全な地域を目ざして団員一同団結を強め活動してまいりますので、皆様方のご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

多賀城市老人クラブ

演芸大会に参加

大代第一百寿会 渡邊 清

第三十五回多賀城市老人クラブ連合会演芸大会が去る十一月二十七日文化センター大ホールで盛大に行われました。多賀城市には二十六の老人クラブがあり、約千五百名の会員がおると聞いておりますが、演芸大会には二十六のクラブから出演者延三百七十七名の演技者による民謡・歌謡・踊り・詩吟・合唱・スポーツダンス等々盛り沢山のプログラムにより開演となり、また、各クラブの応援の皆

さんで文化センター大ホールは満席に近いにぎわいでした。大代第一百寿会も出演者演芸部長の渡邊系な子さん以下十五名により青い山脈を躍る事になり、また民謡の部で早坂登喜哉さんが出演、毎年女性ばかりで頑張っているのを見て私もなんとかなるのではと勇気をもって仲間に入れていただき、練習に入り中々思うようにマスターできず、皆さんに大分心配かけておりましたが、大代の本郷京華先生の懇切丁寧なご指導によりなんとか皆さんについて行く事ができました。

いざ本番当日各クラブの演技を見て老人とは思えぬ活気のある元気な演出が続き時間を忘れて見ており、いざ自分達の出番も近くなるにつれなにか第一百寿会の青い山脈も立派に踊れるものと自信のよくなるものが湧いてきました。第一百寿会の出番は午後最後段ともなりいざ舞台上に上り踊り始めるや客席より一段と大きな声援、演技者一同自分達の踊りがうまく踊れているものと自信がつき最後までこのびと踊ることができました。大きな声援は第一百寿会の応援の皆様始めご指導いただいた諸先生方でした。幕が下りてから司会進行係より大代第一百寿会の応援が大変良かったむね放送がありました。応援の皆さん本当にありがとうございます。

最後に今回の演芸大会を見て感じたことは男性会員の参加が少ないことです。男性会員の皆さん女性会員負けず勇気をもつて積極的に参加しましょう。



〈大代第二百寿会〉

大代の歩み (十)

大代南 渡邊 巖

柏木神社 (二)

村人の中には来宝院の檀家となった人達があり、その墓地が来宝壇山に在って法印墓といわれたが、海軍工廠の開設で移転させられ跡形もなく整地された。

また、神社の付近には『学堂』といわれた木造の建物も在って、村民の寄り合いや、児童・生徒の学習場所としても使用されたが、これも時代の変遷と運命を共にした。

子安観音 (一)

宮城三十三観音札所の一である。この

子安観音には、正宝五年八月十八日と銘が刻まれてある（正宝五年一六四八年）。「安永風土記」には、「安永年迄三百二十三年二相成り地主権四郎別当ノ由二御座候事」となっている。

この観音は塩釜く大代の山街道の入り口に在ったものを、海軍工廠建設の爲の整地によって現在地に移したものである。この観音様には次のような縁起がある。

現在の地主別当、渡邊敬一氏の祖先に渡辺権右衛門という人があった。或るとき用事があつて仙台に行ったが、帰り道で多くの男達が八八車に石仏を載せてワッショイと掛け声を掛けながら引いて来たのに出会った。ふと見ると誠に立派な石の仏様である。

きけば男達は岡田の人々で、仙台の八幡堂からこの石仏を貰い受けてきたところだという。

ところが岡田の別れ道に来るとその車はピタリと止まって動かなくなった。いくら引いても押しても動かない。権右衛門は氣の毒に思い、一緒になって引いたが動かないので「待て、俺が背負ってみよう」といって石仏を背負ってみたところ容易に背負うことが出来た。

(以下次号)

続く

ふれあい短歌

大代西 藤田 遊子

倭の国の卑弥呼女王の 仰ぎ見し

富士の高嶺に 初日照り初む

色変へぬ松の茂れる 庭先に

夫婦鶴来て さはに鳴きつつ初

日射す 故郷の浜辺に 佇めば

たけるの尊 偲ばるるなり

空晴れていにしへの雲 影もなく

知覧の島に 初日昇り

ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

黄落の明るき中に黒を着て

紅葉山達磨大師の結跏趺坐

冬霞島々めぐる遠汽笛

海鼠食う弛みがちな義歯庇う

はや師走老に光陰矢の如し

笠神西 本郷 勝子

篝火に只照らされし寺もみじ

千年の源氏紫部の夕もみじ

平仮名の紫部の意図ぞ床もみじ

鴉色の鼻緒のぼっくり京もみじ

もみじ路の奥へ奥へといざなわれ

(滋賀県大津市石山寺にて)

笠神西 吉野 珠子

会者定離その地を参り十一月尽

箱根路やせんぶりの言秋夜長

目の前に薄いブルーの冬の富士

夕焼や燃して燃えぬ七竈

小田原や断崖にあるもみじかな